

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みえない・みえにくい人たちまたその家族・友人等向け ipad 勉強会
事業主体 (連絡先)	障害者パソコン研究会 会長 前野 弘美 メール <a href="mailto:hmaeno@avis.ne.jp">hmaeno@avis.ne.jp</a> HP <a href="http://pasoken.naganoblog.jp/">http://pasoken.naganoblog.jp/</a> 携帯電話 080-1043-7315 (出ないときは留守電になりますのでコメントを残してください。)
事業区分	(2)保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	503,580 円 (うち支援金: 373,000 円)

### 事業内容

- ・視覚障がい者を対象にした ipad の勉強会です。視覚障がい者のみなさんと勉強会に参加した者がお互いに教えあい生活の中で使えるようにしたい。
- ・やりたいことは、新聞が読みたい、本を読みたい、音楽を聴きたい、メールを送りたい、写真を撮りたい、旅行へ行きたい、道案内などやりたいことはたくさんあった。
- ・勉強会で教わったことを実際の自分たちの生活の中で実践していく。
- ・実際に体験したことをみんなの前で発表し、他の人たちにも伝えられる。



【ipad 勉強会】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・視覚障がい者、病気や高齢による弱視の方々が、タブレット端末を利用したいという願望に対し、一緒にできることを探求している。研究熱心な障害者の方々から教わることも多かった。
- ・一つ一つ疑問点をクリアしていくこと、そして生活の中に取り入れていく喜びや楽しみを味わえる契機となった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

視覚障がい者がタブレット端末を利用したいとき、どこで教わったらいいのか、という不安に対し、障害者パソコン研究会が窓口になって答えることができるようなしくみを作りたいと思う。ボランティアとして視覚障がい者に教えられるスキルも身に着けたいと思う。次年度も、ipad を視覚障がい者の生活のツールとして紹介をする眼科医を招いて講演会を開催したいと思う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 【目標・ねらい】

- ①視覚障がい者が ipad を便利に使う。
- ②いろいろなアプリをつかう。
- ③生活の糧になれば。

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

勉強会に参加して、みえなくなった不安が解消され、ipad で生活が便利になった。という参加者の声がうれしいです。